



# 谷原小だより 11月号

平成 28 年 11 月 1 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 鈴木 英明

来年は60周年！式典は平成29年7月1日。  
スローガン決定！「谷原っ子 希望の道を 一歩ずつ」

## ★学芸会に向けて

校長 鈴木 英明

早いもので9月から2ヶ月、秋も深まり、木々の葉も色づく季節となりました。

本校では、6年生が9月中旬に下田へ3泊4日、5年生が9月下旬に軽井沢へ2泊3日、くすのき学級が10月下旬に岩井に2泊3日と宿泊行事を実施しました。また、9月27日には、3年生が日和田山への遠足、10月14日には2年生が石神井公園への生活科見学を実施しました。校外に出かけて学習するというだけで楽しいものですが、宿泊行事や遠足は、教室では学ぶことのできない体験学習をするだけではありません。規則正しい生活態度、協調性や友達を思いやる心といった人間関係調整力を育てることも大きな目的の一つです。わがままを抑え、仲間と協力し、自分のことを自分で行うという経験は、社会の一員として生きていくために必要な人間性の育成につながっています。

最近では、国や東京都の学力等の調査から子どもの学力と生活習慣などの関係が分析され、「身の回りのことを自分でしようとしている」子どもは、学力調査における国語や算数などの平均正答率が高く、両者には明らかに相関があるとも報告されています。

さて、11月となり子供たちは18日、19日に行われる学芸会に向けて、台詞を一生懸命に覚えたり、小道具を作り整えたりと練習を積み重ねています。学芸会で作品を演じるには、子供たち一人一人が自分の役割を果たす必要があります。そして、一人一人の役割が合わさることによって、一つの作品が創り上げられます。自分の役割を果たすという力は、学芸会に限ったものではなく、集団が物事を成し遂げるために必要なことです。同時に、先に述べた宿泊行事等の学校行事の目的ともなる協調性や友達を思いやる心といった人間関係調整力も必要となってきます。

また、学校行事については、「実施に当たっては、異年齢集団による交流、幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。」と学習指導要領にあり、「学芸会などで異年齢の児童が一堂に会して、互いに発表し合う活動を効果的に実施することが望ましい」と言われています。まさに学芸会で作品を鑑賞することは、異年齢集団の交流の一つなのです。

異年齢集団の交流に関して子供たちは、これまでに運動会という大きな行事をはじめ、昨日行った仲良し公園ランチに代表される兄弟学級による仲良し遊び、低学年によるワンツー遠足、高学年による移動教室事前学習などを経験してきました。そして、これらの活動を通して下の学年の子供は、上の学年に対しての憧れを感じ、上の学年の子供は、下の学年に対しての思いやりをもてるようになってきており、みんなと一緒に協力することが大切であると気付くようになってきています。

保護者・地域の皆様、関係の皆様におかれましては、学芸会に子供たちがどのように参加しているのかをご覧いただき、子供たちを応援していただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

仲良し公園ランチ



# 学芸会にむけて

学芸会委員長 小林 健

2年に一度の大きな行事である学芸会。日程は11月18日(金)、19日(土)です。詳細につきましては、本日、配布したお手紙をよくお読みください。

《演目》

1年生『ニンニン ニンポウ ハラヘッター!』	5年生『人間になりたがった猫』
2年生『エルマーの ぼうけん』	6年生『走れ メロス』
3年生『オズの 魔法使い』	くすのき『ブレーメンの音楽隊』
4年生『ライオンキング』	

10月後半より各学年で、学芸会に向けての練習や準備が始まりました。今年のスローガンは

**『みんなの心と力を合わせて つくりあげよう すてきな舞台』**です。

みんなの心と力を合わせるという言葉は、口に出して言ったり、書き表したりするのは、とても簡単です。しかし、実際に行ってみるといのはどうでしょうか。もし、やわらっ子たちも先生たちも『みんなが』同じ目標に向かって『心と力を合わせる』ことができたのなら、それはとても『すてきな舞台』となるでしょう。このスローガンが実現するよう学校全体で練習を進めていきます。

ご協力をお願いすることやご不便をおかけすることもあります。何卒よろしくお願ひします。そして、なにより学芸会本番の子供たちの舞台をご期待ください。

※ 学芸会の18日、19日の子供たちの**登校時間が異なります。(8:00 ~8:10【登校班】)**

## くすのき学級より

10月26日(水)から28日(金)まで岩井宿泊学習に行ってきました。1年生から5年生までの児童と教員で2泊3日を過ごしました。

1日目は、ロマンの森共和国へ行きました。ハイキングをして、おいしいお弁当を食べた後はスリル満点のアスレチックに挑戦しました。26のポイントは落ちそうになったり、高くて怖かったり、挑戦しがいがありました。

2日目は、1番楽しみにしていた鴨川シーワールド。館内を見学して、見たこともない魚やクラゲにびっくりしました。イルカやアシカ・ベルーガのショーではかわいい姿やユーモアあふれる行動に笑ったり、拍手をしたりしました。シャチのショーでは、念願通り水のかかる席で、レインコートを着ても見事にぬれて、大満足でした。

3日目のメインは6万坪もある農園でのサツマイモ堀り。大きいもの・中くらいのもの・・・出てくるたびに大興奮でした。農家の方のご厚意で出してくれた焼き芋は、安納芋でとても甘く、2個ぺろりと食べてしまいました。

6月の軽井沢について今年度2回目の宿泊学習なので、前回より身の回りのことがスムーズにできる児童が多くなりました。宿舎では、同じ練馬区内の大泉第三小学校のいちよう学級、大泉学園小学校のひまわり学級、大泉東小学校のさくら学級と一緒に体育館での室内レクリエーションをしたり、食事をしたりして、親交を深めました。

## 移動教室を終えて～5年～

「もう一回、今すぐ、移動教室に行きたい人!？」帰校式でのこの呼びかけに、ほとんど全員が手を挙げていました。

無事故で移動教室を終わらせ、保護者の元に子供たちを無事にお返しできた安心感と共に「きっと思い出に残る楽しい移動教室にできたんだな。」と胸をなで下ろしました。

「友達と協力し、自律的な行動ができる子供たちに成長させたい!」との願いから、池の平湿原と自然史博物館では、班行動を取り入れました。

特に池の平湿原では、歩くコースもお昼を食べる場所も選ぶことができるようにし、各ポイントで待っている先生の場所では、クイズやお題に協力して答えなければならないように設定しました。待っている教員も期待と不安でいっぱいでしたが。。



中には一人はぐれてしまったり、男女がそろっていなかったりした班もありましたが、ほとんどの班が、仲良くしゃべりながら(中には歌を歌っている班も!)行動することができていました。やはり5年生のポテンシャルは高いのです!

次は学芸会。5年生は「人間になりたがった猫」を演じます。一人一人が精一杯の表現ができるように、友達と協力して自主的に取り組めるように、団結して一つの物語を紡ぎ出せるように、そして、5年生のポテンシャルを最大限引き出せるように、担任一同、全力で子供たちの成長を支援して参ります!

(ポテンシャル・・・潜在能力、可能性)

## 4年生より

### ただいま学芸会の練習 真っ最中!

日々の学習や生活の中でも、個性を發揮し、どんどん成長している4年生。10月には、(総合)「バリアフリーについて調べよう」学習の一環で、手話や点字を学習したり、聴覚障害のある方々や、全国で65頭・練馬区では1頭しかいないという聴導犬『ブランカ』にも出会ったりする中で、お互いを思い助け合いながら生活をしていくという想いが育ちました。これは、障害の有る無しにかかわらず、これから社会の中で生きていく子供たちに身につけてほしい意識の一つです。また、「大人になる成人と生まれたばかりの赤ちゃんのちょうど真ん中に当たる10才の4年生は、今まで赤ちゃん側だったけれどこれからは大人側になる」という言葉にも、はっとさせられたようです。

10月24日からは、学芸会に向けての練習がスタートしました。いつものように実行委員が舞台の上に並び、学年スローガン発表『感動を みんなの心に響かせて 笑顔があふれる学芸会』と、その日の練習のめあてを言ってから、練習が始まります。テーマを「親の愛をつなげる子供・つなげる命・本当の勇敢さとは何か」とし、相手意識をもち、見てくれるみんなにどうしたら伝わるのかを一人一人が探る練習です。ゴールは19日。あふれるような達成感と、最高の思い出を共に迎えたいと考え、担任一同、一致団結して進んでいきます。ご家庭での応援よろしくお願ひします。



# 11月の予定

日	曜	予定
1	火	
2	水	美化日
3	木	文化の日 合同運動会(特支)
4	金	健康の日
5	土	
6	日	
7	月	安全指導
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	学校公開⑤ 学校評議委員会
13	日	
14	月	学芸会係活動6年
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	学芸会(児童鑑賞日)
19	土	学芸会(保護者鑑賞日)
20	日	
21	月	振替休業日
22	火	学芸会片付け6年 就学時健診係活動5年
23	水	勤労感謝の日
24	木	就学時健診のため3時間授業
25	金	避難訓練
26	土	
27	日	
28	月	クラブ⑩ 読書旬間始
29	火	校区别協議会のため4時間授業 研究授業 1-2 宮北学級 3年生全学級
30	水	特別時程4時間授業
		12月の予定
1	木	
2	金	校内研究会のため4時間授業 研究授業 2-2 小林学級 (12月9日まで)



## ふれあい月間

生活指導主幹 村上 美予子

11月は、「ふれあい月間」です。

練馬区では、いじめをなくしてみんなが明るく楽しい生活ができるように、また、一人一人がいじめをなくす強い気持ちをもつことができるように、「いじめ一掃プロジェクト」を行っています。昨年度は「いじめ防止ポスター」でしたが、今年度は「いじめ撲滅宣言」を募集しています。

谷原小学校では、まず、代表委員会がいじめ撲滅のスローガンを掲げ、そのスローガンに従って各学級でどんな取り組みができるかを考え、宣言を決めます。そして、その宣言を合い言葉に、みんながいじめをなくそうという気持ち、いじめを許さないという気持ちを強め、行動することをねらっていきます。また、各委員会でも、いじめ撲滅宣言の周知やいじめ防止につながる取り組みを行うことを計画しています。

心の傷の回復は、肉体の傷の回復よりもずっと難しいものです。いじめは絶対に許されない行為です。身近な大人が口で教えるよりも示していくしかないと思っています。大人が人に関心を持ち、いろいろな人と出会い、自分と違うことも認め、受け入れる、そうすることで自分以外の人も皆大切な存在なのだということを子供なりに覚えていくのではないのでしょうか。

「ふれあい月間」を迎える11月、ご家庭で、お子さんの話に耳を傾ける時間をいつもより少し長くとってみてはいかがでしょうか。気になることがあったときには、「やさしい一言」で心の傷の手当をしてあげてください。それが、子供にとって一番の薬になることと思います。